
「山梨県不妊治療環境整備検討事業」

山梨県不妊治療に関する実態調査 報告書

令和5年1月

山梨県



YAMANASHI

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査期間.....	1
3 調査の種類.....	1
4 調査方法.....	1
5 アンケート調査の回収状況.....	1
6 集計上の留意点.....	2
II 調査結果	3
1 アンケート調査（当事者対象）	3
あなた自身のことについて.....	3
不妊治療について.....	6
経済的負担について.....	8
仕事との両立について.....	13
医療機関・相談先について.....	16
自由記述回答.....	22
2 ヒアリング調査（医療機関対象）	26
III 資料編	27
1 調査協力依頼文.....	27
2 調査票	28

I 調査概要

1 調査の目的

保険適用後の不妊治療に関する負担感や不妊治療の環境を整備する上で求めているサービス等について実態を明らかにし、山梨県が取り組むべき有効な施策について検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査期間

令和4年8月～10月に実施

3 調査の種類

(1) アンケート調査

山梨県に居住する不妊治療中、不妊治療予定または過去に不妊治療経験のある方

(2) ヒアリング調査

山梨県内で不妊治療（高度生殖補助医療）を行っている医療機関（4か所）

4 調査方法

(1) アンケート調査

①医療機関（山梨県内4か所、山梨県外1か所）・保健所による調査票配布及び郵送・インターネット上での回収

②山梨県ホームページ上での回収

(2) ヒアリング調査

訪問またはオンラインでの聞き取り調査

5 アンケート調査回収状況

①医療機関（県内4か所、県外1か所）・保健所による調査票配布及び郵送・インターネット上での回収

配布件数	回収件数	回収率
729件	371件	50.9%

※うち1件無効票

②山梨県ホームページ上での回収

配布件数	回収件数	回収率
—	55件	—

※うち3件無効票

集計サンプル数：422件

6 集計上の留意点

- (1) グラフ中の「N=」は、母数となるサンプル数（回答対象者数）を示している。
- (2) 集計結果は百分率で算出し、四捨五入の関係上、百分率の合計が 100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の場合は、回答者実数より多くなっている場合がある。

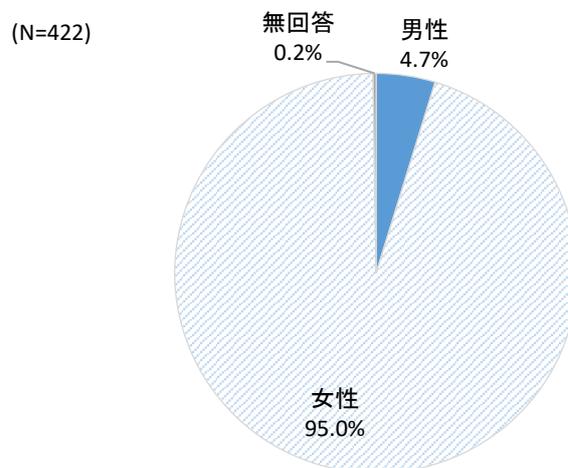
Ⅱ 調査結果

1 アンケート調査（当事者対象）

あなた自身のことについて

問1 あなたの性別を教えてください。

性別については、「男性」が4.7%、「女性」が95.0%となっている。



問2 あなたのお住まいの（住民票のある）市町村はどちらですか。市町村名をご記入ください。

居住地については、「甲府市」が29.1%と最も多く、次いで「甲斐市」が16.4%、「南アルプス市」が10.4%となっている。

	甲府市	甲斐市	南アルプス市	笛吹市	山梨市	昭和町	中央市	富士吉田市	北杜市	韮崎市
上位1項目										
全体	123 29.1%	69 16.4%	44 10.4%	33 7.8%	24 5.7%	23 5.5%	17 4.0%	15 3.6%	12 2.8%	12 2.8%

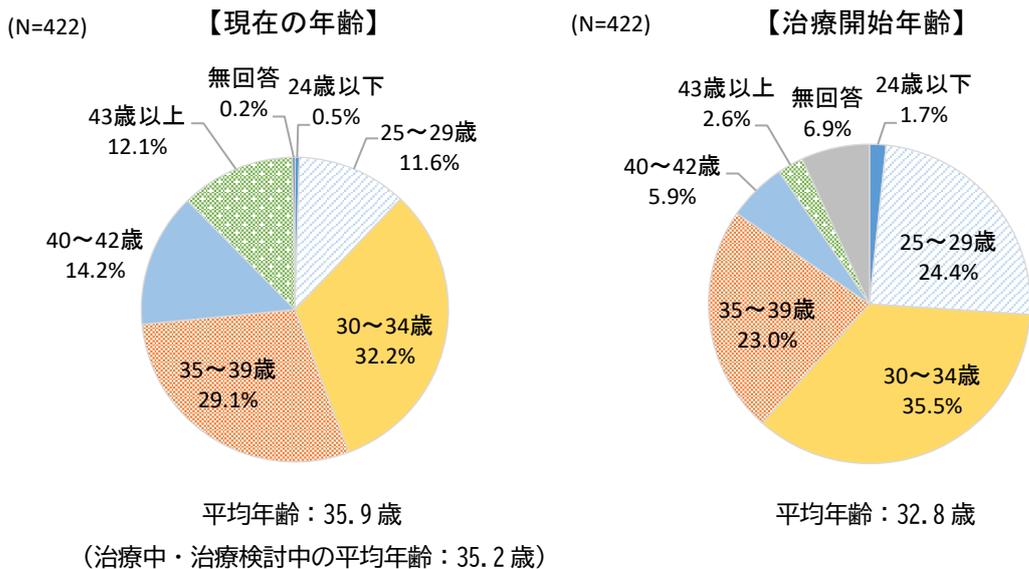
※サンプル数10以下省略

その他の回答：甲州市、富士河口湖町、富士川町、都留市、市川三郷町、忍野村、大月市、鳴沢村、身延町 等

問3 あなたの現在の年齢と治療経験のある方は初めて不妊治療を開始した年齢を教えてください。

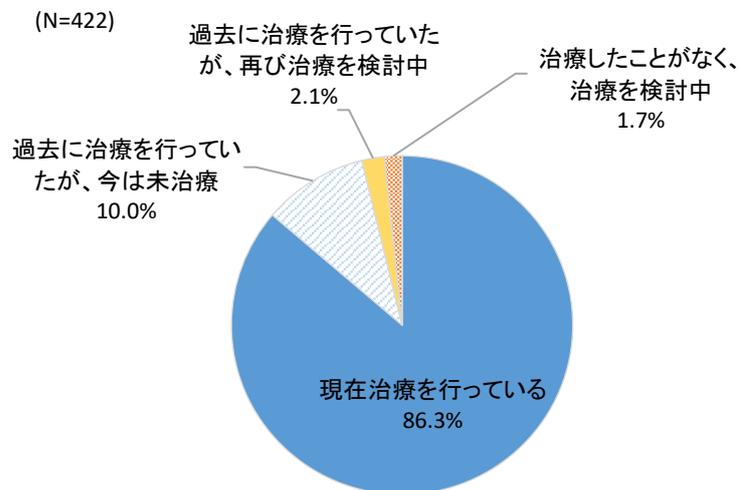
回答者の現在の年齢については、「30～34歳」が32.2%と最も多く、次いで「35～39歳」が29.1%、「40～42歳」が14.2%となっている。

治療開始年齢については、「30～34歳」が35.5%と最も多く、次いで「25～29歳」が24.4%、「35～39歳」が23.0%となっている。



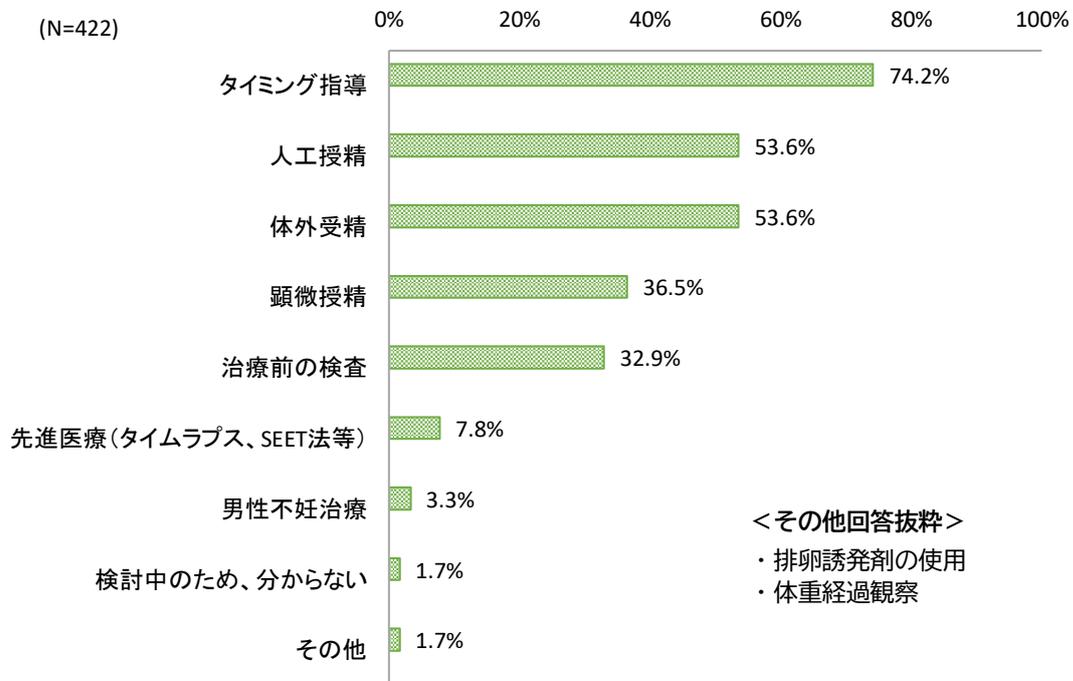
問4 あなたの治療状況を教えてください。(該当する番号1つに○)

治療状況については、「現在治療を行っている」が86.3%と最も多く、次いで「過去に治療を行っていたが、今は未治療」が10.0%、「過去に治療を行っていたが、再び治療を検討中」が2.1%となっている。



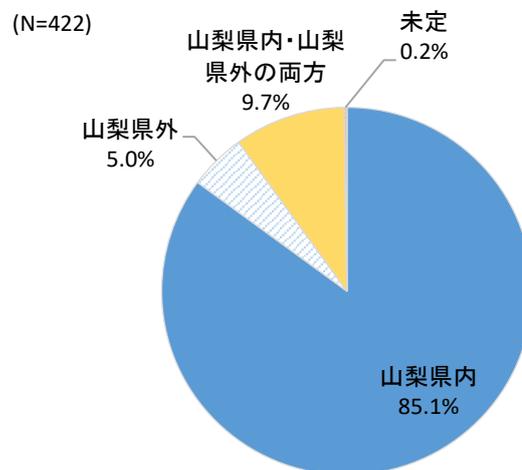
問5 現在行っている、行っていたもしくは行う予定の不妊治療の内容を教えてください。(該当する番号すべてに○)

不妊治療の内容については、「タイミング指導」が74.2%と最も多く、次いで「人工授精」「体外受精」がともに53.6%となっている。



問6 通院されている、通院されていたもしくは通院予定の医療機関はどちらですか。(該当する番号1つに○)

通院先の医療機関については、「山梨県内」が85.1%と最も多く、次いで「山梨県内・山梨県外の両方」が9.7%、「山梨県外」が5.0%となっている。



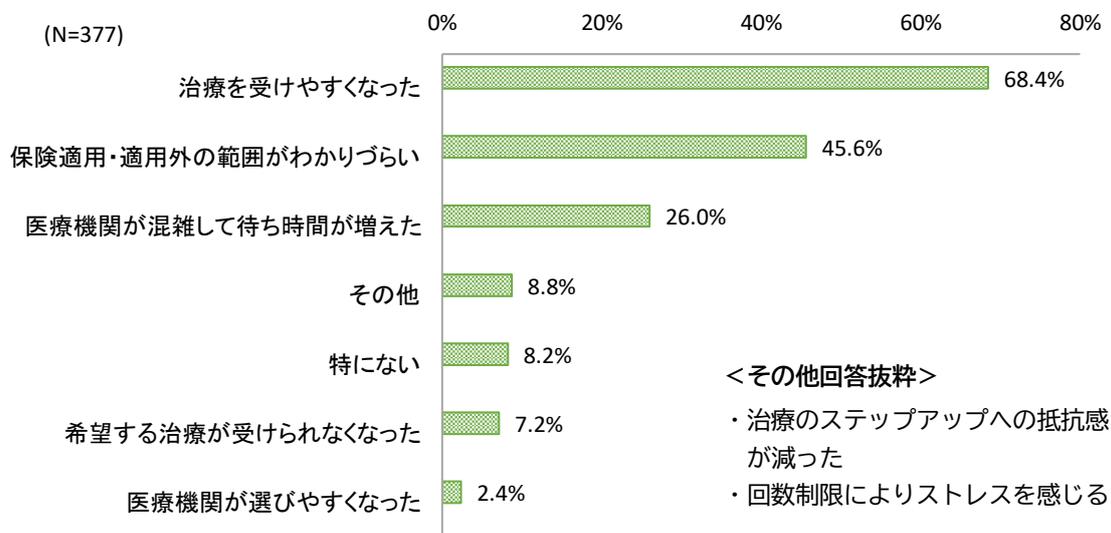
不妊治療について

令和4年4月以降に、治療を行った方、これから行う予定の方にお尋ねします。

問7 令和4年4月以降、不妊治療が保険適用となったことによるあなたの心理面への影響について教えてください。(該当する番号3つ以内に○)

不妊治療が保険適用となったことによる心理面への影響について、「治療を受けやすくなった」が68.4%で最も多く、次いで「保険適用・適用外の範囲がわかりづらい」が45.6%、「医療機関が混雑して待ち時間が増えた」が26.0%となっている。

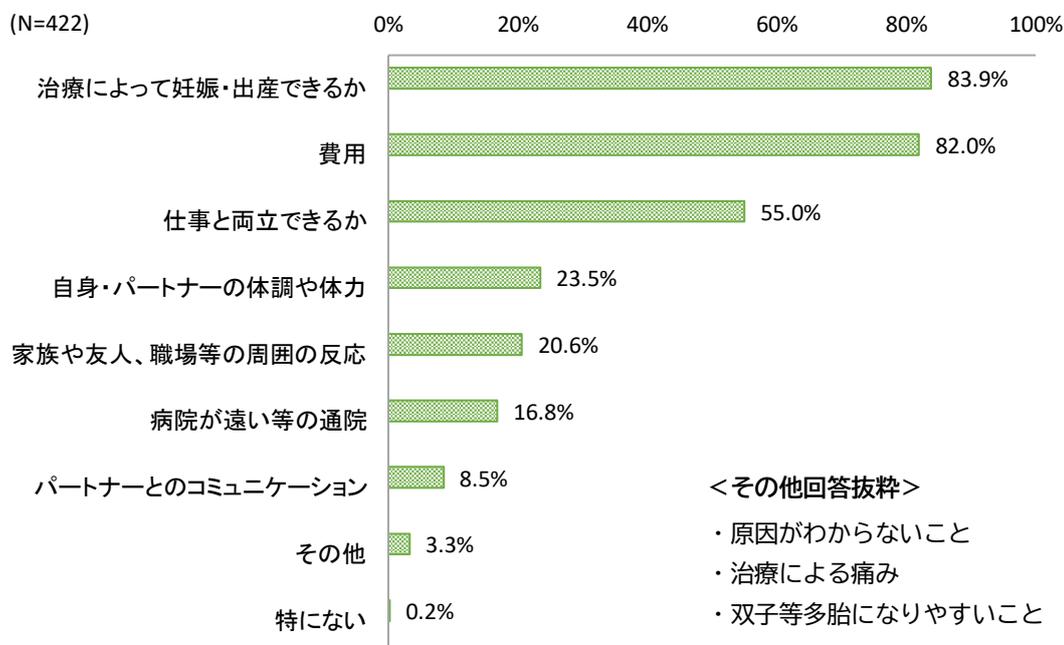
年齢別にみると、年齢が低くなるにつれて「治療を受けやすくなった」の割合が高くなっている。



※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある		サンプル数	治療を受けやすくなった	時間が増え、医療機関が混雑して待ち	医療機関が選ばれやすくなった	保険適用・適用外の範囲がわかりづらい	希望する治療を受けられなくなった	特にない	その他
上位1項目									
総数		377	258 68.4%	98 26.0%	9 2.4%	172 45.6%	27 7.2%	31 8.2%	33 8.8%
年齢別	24歳以下	2	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	25～29歳	47	38 80.9%	9 19.1%	0 0.0%	22 46.8%	3 6.4%	1 2.1%	2 4.3%
	30～34歳	126	95 75.4%	32 25.4%	5 4.0%	58 46.0%	9 7.1%	11 8.7%	3 2.4%
	35～39歳	119	81 68.1%	35 29.4%	1 0.8%	61 51.3%	6 5.0%	7 5.9%	13 10.9%
	40～42歳	54	35 64.8%	14 25.9%	3 5.6%	25 46.3%	8 14.8%	3 5.6%	8 14.8%
	43歳以上	28	6 21.4%	7 25.0%	0 0.0%	4 14.3%	1 3.6%	9 32.1%	7 25.0%

問8 不妊治療について不安に思っている、または過去不安に思っていたことを教えてください。(該当する番号3つ以内に○)

不妊治療の不安について、「治療によって妊娠・出産できるか」が83.9%で最も多く、次いで「費用」が82.0%、「仕事と両立できるか」が55.0%となっている。



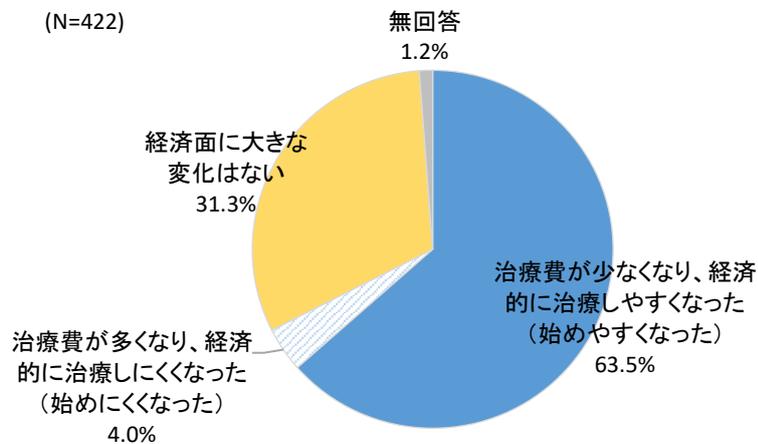
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある		サンプル数	費用	治療によって妊娠・出産できるか	家族や友人、職場等の周囲の反応	病院が遠い等の通院	仕事と両立できるか	パートナーとのコミュニケーション	自身・パートナーの体調や体力	特にない	その他
上位1項目											
総数		422	346 82.0%	354 83.9%	87 20.6%	71 16.8%	232 55.0%	36 8.5%	99 23.5%	1 0.2%	14 3.3%
年齢別	24歳以下	2	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	25～29歳	49	42 85.7%	42 85.7%	11 22.4%	4 8.2%	27 55.1%	6 12.2%	11 22.4%	0 0.0%	1 2.0%
	30～34歳	136	115 84.6%	116 85.3%	34 25.0%	19 14.0%	79 58.1%	9 6.6%	31 22.8%	1 0.7%	6 4.4%
	35～39歳	123	94 76.4%	103 83.7%	26 21.1%	24 19.5%	69 56.1%	12 9.8%	29 23.6%	0 0.0%	3 2.4%
	40～42歳	60	53 88.3%	48 80.0%	7 11.7%	9 15.0%	35 58.3%	1 1.7%	10 16.7%	0 0.0%	2 3.3%
	43歳以上	51	39 76.5%	42 82.4%	9 17.6%	14 27.5%	20 39.2%	8 15.7%	18 35.3%	0 0.0%	2 3.9%

経済的負担について

問9 令和4年4月以降、不妊治療が保険適用となったことによるあなたの経済面への影響について、教えてください。(該当する番号1つに○)

不妊治療が保険適用となったことによる経済面への影響について、「治療費が少なくなり、経済的に治療しやすくなった(始めやすくなった)」が63.5%で最も多く、次いで「経済面に大きな変化はない」が31.3%、「治療費が多くなり、経済的に治療しにくくなった(始めにくくなった)」が4.0%となっている。

年齢別にみると、43歳以上では「経済面に大きな変化はない」が最も高く、約6割を占めている。



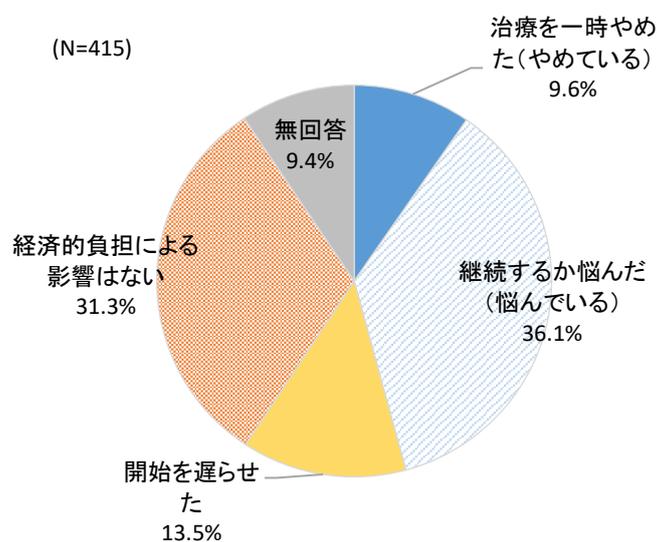
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある		サンプル数	治療費が少なくなり、経済的に治療しやすくなった(始めやすくなった)	治療費が多くなり、経済的に治療しにくくなった(始めにくくなった)	経済面に大きな変化はない	無回答
上位1項目						
総数		422	268 63.5%	17 4.0%	132 31.3%	5 1.2%
年齢別	24歳以下	2	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	25～29歳	49	36 73.5%	1 2.0%	11 22.4%	1 2.0%
	30～34歳	136	97 71.3%	1 0.7%	38 27.9%	0 0.0%
	35～39歳	123	78 63.4%	4 3.3%	40 32.5%	1 0.8%
	40～42歳	60	41 68.3%	5 8.3%	13 21.7%	1 1.7%
	43歳以上	51	13 25.5%	6 11.8%	30 58.8%	2 3.9%

問4で「1. 現在治療を行っている」または「2. 過去に治療を行っていたが、今は未治療」「3. 過去に治療を行っていたが、新たに治療を検討中」と回答した方にお尋ねします。

問 10 経済的負担を理由とする治療継続に関する経験について教えてください。複数あてはまる場合はより期間の長いものをお選びください。(該当する番号1つに○)

経済的負担を理由とする治療継続に関する経験について、「継続するか悩んだ(悩んでいる)」が36.1%で最も多く、次いで「経済的負担による影響はない」が31.3%、「開始を遅らせた」が13.5%となっている。

年齢別にみると、30歳代では「経済的負担による影響はない」が最も高くなっている。通院中(予定)の医療機関別にみると、「継続するか悩んだ(悩んでいる)」について、山梨県外では約5割、県内・県外の両方では約4割と高くなっている。

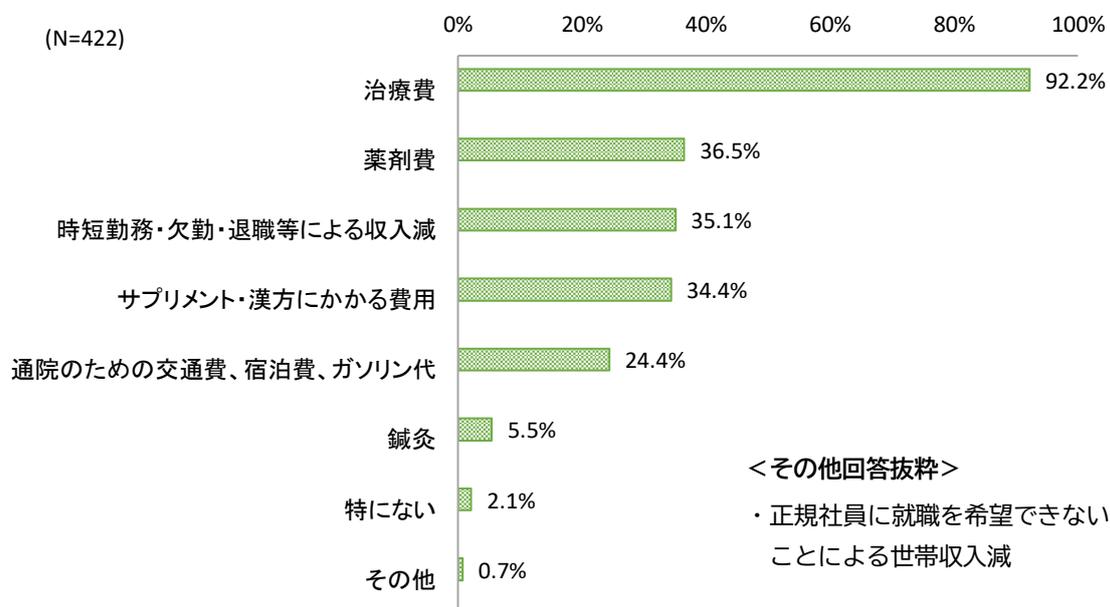


※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある		サンプル数	治療を一時やめた (やめている)	継続するか悩んだ (悩んでいる)	開始を遅らせた	経済的負担による影響はない	無回答
上位1項目							
総数		415 100.0%	40 9.6%	150 36.1%	56 13.5%	130 31.3%	39 9.4%
年齢別	24歳以下	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	25～29歳	45 100.0%	1 2.2%	16 35.6%	5 11.1%	14 31.1%	9 20.0%
	30～34歳	134 100.0%	11 8.2%	40 29.9%	25 18.7%	48 35.8%	10 7.5%
	35～39歳	122 100.0%	14 11.5%	41 33.6%	14 11.5%	43 35.2%	10 8.2%
	40～42歳	60 100.0%	6 10.0%	29 48.3%	8 13.3%	13 21.7%	4 6.7%
	43歳以上	51 100.0%	7 13.7%	24 47.1%	3 5.9%	11 21.6%	6 11.8%
通院中(予定)の医療機関	山梨県内	353 100.0%	26 7.4%	123 34.8%	49 13.9%	125 35.4%	30 8.5%
	山梨県外	21 100.0%	3 14.3%	10 47.6%	2 9.5%	2 9.5%	4 19.0%
	県内・県外の両方	41 100.0%	11 26.8%	17 41.5%	5 12.2%	3 7.3%	5 12.2%
	未定	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -

問11 不妊治療に関して経済的に負担と感ずるものを教えてください。

(該当する番号3つ以内に○)

不妊治療で経済的に負担と感ずるものについて、「治療費」が92.2%で最も多く、次いで「薬剤費」が36.5%、「時短勤務・欠勤・退職等による収入減」が35.1%となっている。



※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある		治療費	通院のための交通費、宿泊費、ガソリン代	薬剤費	サプリメント・漢方にかかる費用	鍼灸	時短勤務・欠勤・退職等による収入減	特にない	その他
総数	422	389 92.2%	103 24.4%	154 36.5%	145 34.4%	23 5.5%	148 35.1%	9 2.1%	3 0.7%
年齢別	24歳以下	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	25～29歳	49 89.8%	12 24.5%	22 44.9%	14 28.6%	0 0.0%	22 44.9%	0 0.0%	0 0.0%
	30～34歳	136 91.9%	34 25.0%	49 36.0%	45 33.1%	7 5.1%	55 40.4%	3 2.2%	0 0.0%
	35～39歳	123 92.7%	24 19.5%	45 36.6%	48 39.0%	10 8.1%	38 30.9%	3 2.4%	1 0.8%
	40～42歳	60 95.0%	15 25.0%	22 36.7%	21 35.0%	3 5.0%	22 36.7%	1 1.7%	1 1.7%
	43歳以上	51 90.2%	17 33.3%	15 29.4%	15 29.4%	3 5.9%	10 19.6%	2 3.9%	1 2.0%

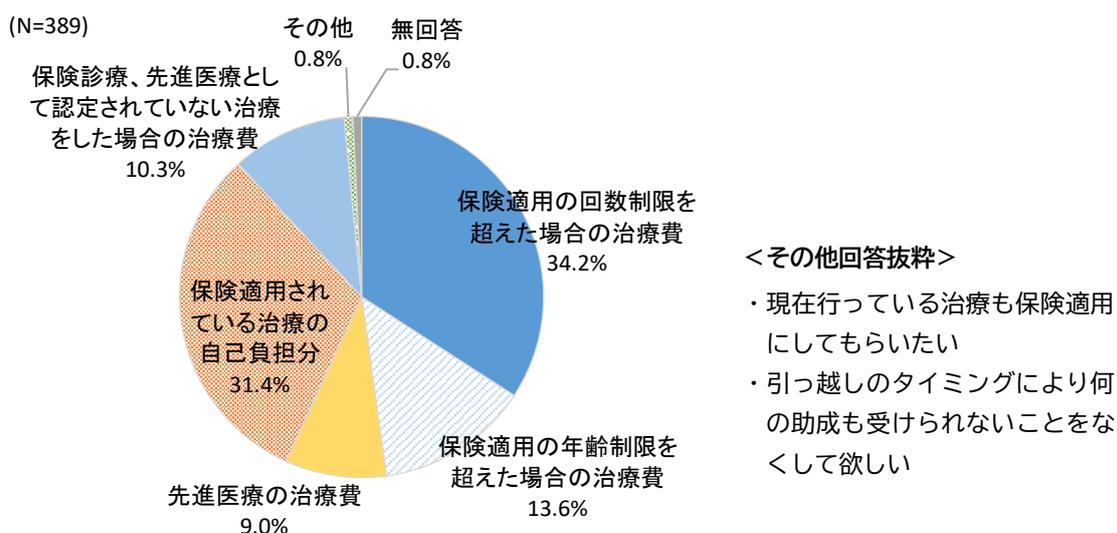
問11で「1. 治療費」と回答した方にお尋ねします。

問12 治療費に対して助成する場合、どのような費用に対して助成を望みますか。

(該当する番号1つに○)

治療費に対する助成について、「保険適用の回数制限を超えた場合の治療費」が34.2%で最も多く、次いで「保険適用されている治療の自己負担分」が31.4%、「保険適用の年齢制限を超えた場合の治療費」が13.6%となっている。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて、「保険適用の年齢制限を超えた場合の治療費」の割合が高くなっている。



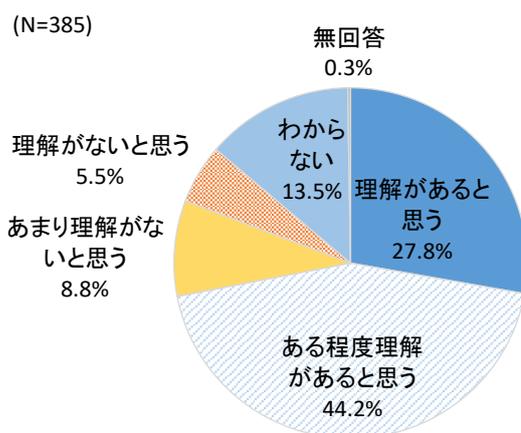
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある		サンプル数	え保険適用の回数制限を超えた場合の治療費	え保険適用の年齢制限を超えた場合の治療費	先進医療の治療費	の保険適用されている治療の自己負担分	をて保険診療、先進医療として認定されていない治療をした場合の治療費	その他	無回答
上位1項目									
総数		389	133	53	35	122	40	3	3
		100.0%	34.2%	13.6%	9.0%	31.4%	10.3%	0.8%	0.8%
年齢別	24歳以下	2	2	0	0	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	25～29歳	44	12	1	5	22	4	0	0
		100.0%	27.3%	2.3%	11.4%	50.0%	9.1%	0.0%	0.0%
	30～34歳	125	52	3	8	47	15	0	0
		100.0%	41.6%	2.4%	6.4%	37.6%	12.0%	0.0%	0.0%
35～39歳	114	38	9	11	38	14	2	2	
	100.0%	33.3%	7.9%	9.6%	33.3%	12.3%	1.8%	1.8%	
40～42歳	57	18	15	6	12	5	0	1	
	100.0%	31.6%	26.3%	10.5%	21.1%	8.8%	0.0%	1.8%	
43歳以上	46	10	25	5	3	2	1	0	
	100.0%	21.7%	54.3%	10.9%	6.5%	4.3%	2.2%	0.0%	

仕事との両立について

不妊治療期間中に働いているもしくは働いていた方(雇用形態問わず)にお尋ねします。

問 13 あなたが働いている、または働いていた職場では不妊治療への理解がありますか。(該当する番号1つに○)

職場の不妊治療への理解について、「理解があると思う+ある程度理解があると思う」が72.0%、「あまり理解がないと思う+理解がないと思う」が14.3%、「わからない」が13.5%となっている。



※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある		サンプル数	理解があると思う	ある程度理解がある	あまり理解がない	理解がないと思う	わからない	無回答
			107	170	34	21	52	1
総数		385	27.8%	44.2%	8.8%	5.5%	13.5%	0.3%
年齢別	24歳以下	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	25～29歳	42	26.2%	47.6%	7.1%	4.8%	11.9%	2.4%
	30～34歳	123	27.6%	48.0%	9.8%	3.3%	11.4%	0.0%
	35～39歳	116	31.9%	39.7%	5.2%	6.9%	16.4%	0.0%
	40～42歳	54	24.1%	51.9%	5.6%	9.3%	9.3%	0.0%
	43歳以上	48	25.0%	33.3%	18.8%	4.2%	18.8%	0.0%

不妊治療期間中に働いているもしくは働いていた方(雇用形態問わず)にお尋ねします。

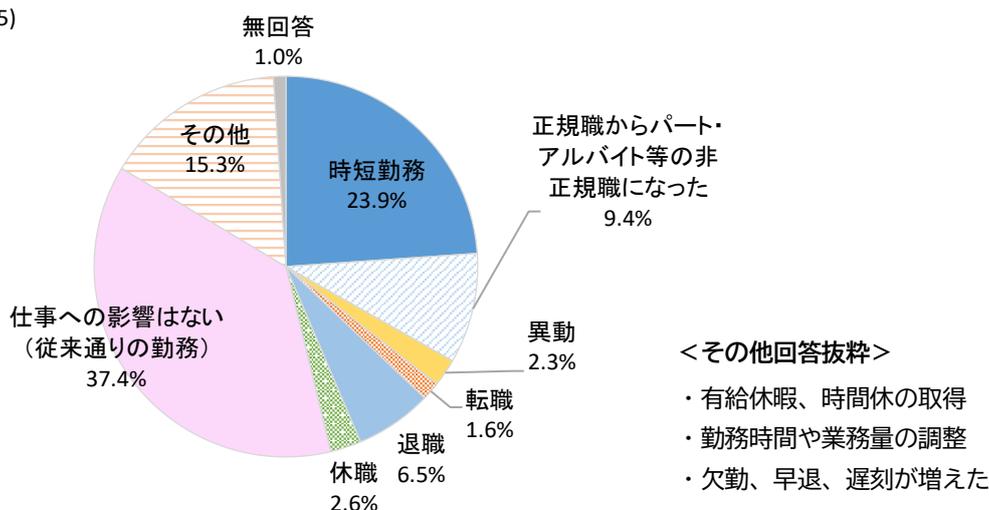
問 14 不妊治療の通院のため、仕事にどのような影響がありましたか。

(該当する番号1つに○)

仕事への影響について、「仕事への影響はない(従来通りの勤務)」が37.4%と最も多く、次いで「時短勤務」が23.9%、「その他」が15.3%となっている。その他回答では有給休暇の取得や、遅刻・早退・欠勤など急な休みが増えたという意見がみられる。

年齢別にみると、20歳代では「時短勤務」の割合が他の年代と比べ高くなっている。

(N=385)



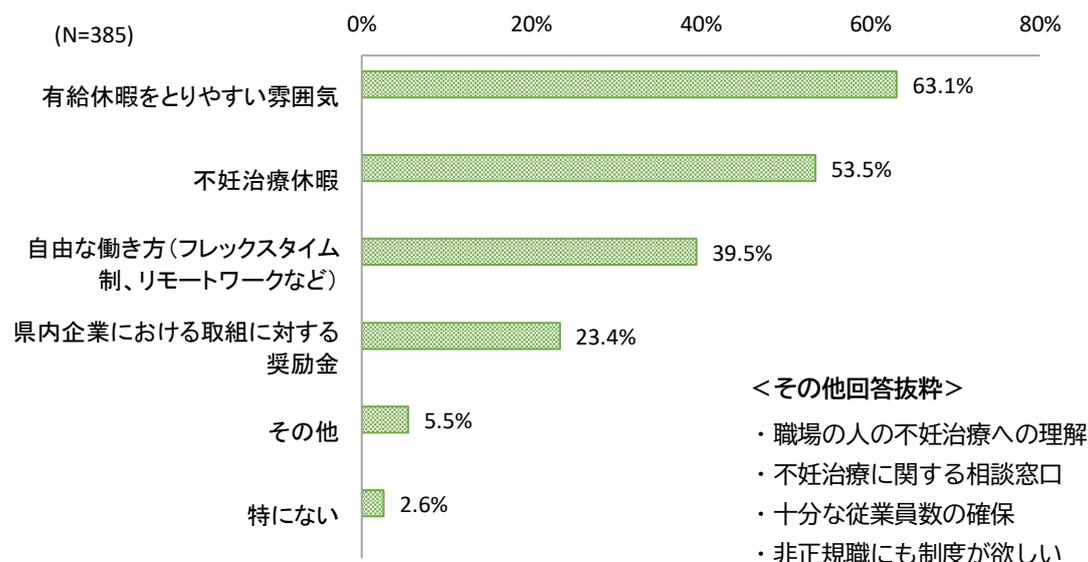
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある		サンプル数	時短勤務	正規職からパート・アルバイト等になった	異動	転職	退職	休職	仕事への影響はない(従来通りの勤務)	その他	無回答
上位1項目	割合										
総数		385	92	36	9	6	25	10	144	59	4
		100.0%	23.9%	9.4%	2.3%	1.6%	6.5%	2.6%	37.4%	15.3%	1.0%
年齢別	24歳以下	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	25~29歳	42	16	5	0	0	3	1	12	4	1
		100.0%	38.1%	11.9%	0.0%	0.0%	7.1%	2.4%	28.6%	9.5%	2.4%
	30~34歳	123	28	10	4	4	8	3	49	17	0
		100.0%	22.8%	8.1%	3.3%	3.3%	6.5%	2.4%	39.8%	13.8%	0.0%
35~39歳	116	29	13	2	1	9	4	35	23	0	
	100.0%	25.0%	11.2%	1.7%	0.9%	7.8%	3.4%	30.2%	19.8%	0.0%	
40~42歳	54	12	7	1	0	1	2	19	9	3	
	100.0%	22.2%	13.0%	1.9%	0.0%	1.9%	3.7%	35.2%	16.7%	5.6%	
43歳以上	48	6	1	2	1	3	0	29	6	0	
	100.0%	12.5%	2.1%	4.2%	2.1%	6.3%	0.0%	60.4%	12.5%	0.0%	

不妊治療期間中に働いているもしくは働いていた方(雇用形態問わず)にお尋ねします。

問 15 仕事と治療を両立させる上で、どのような環境や制度が必要だと思いますか。

(該当する番号2つ以内に○)

仕事と治療の両立で必要なものについて、「有給休暇をとりやすい雰囲気」が 63.1%と最も多く、次いで「不妊治療休暇」が 53.5%、「自由な働き方(フレックスタイム制、リモートワークなど)」が 39.5%となっている。



※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある		サンプル数	有給休暇をとりやすい雰囲気	自由な働き方(フレックスタイム制、リモートワークなど)	不妊治療休暇	県内企業における取組に対する奨励金	特にない	その他
上位1項目								
総数		385	243 63.1%	152 39.5%	206 53.5%	90 23.4%	10 2.6%	21 5.5%
年齢別	24歳以下	2	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	25～29歳	42	27 64.3%	20 47.6%	25 59.5%	9 21.4%	2 4.8%	1 2.4%
	30～34歳	123	78 63.4%	51 41.5%	69 56.1%	34 27.6%	3 2.4%	8 6.5%
	35～39歳	116	76 65.5%	47 40.5%	57 49.1%	22 19.0%	2 1.7%	7 6.0%
	40～42歳	54	28 51.9%	20 37.0%	31 57.4%	14 25.9%	0 0.0%	2 3.7%
	43歳以上	48	32 66.7%	13 27.1%	23 47.9%	10 20.8%	3 6.3%	3 6.3%

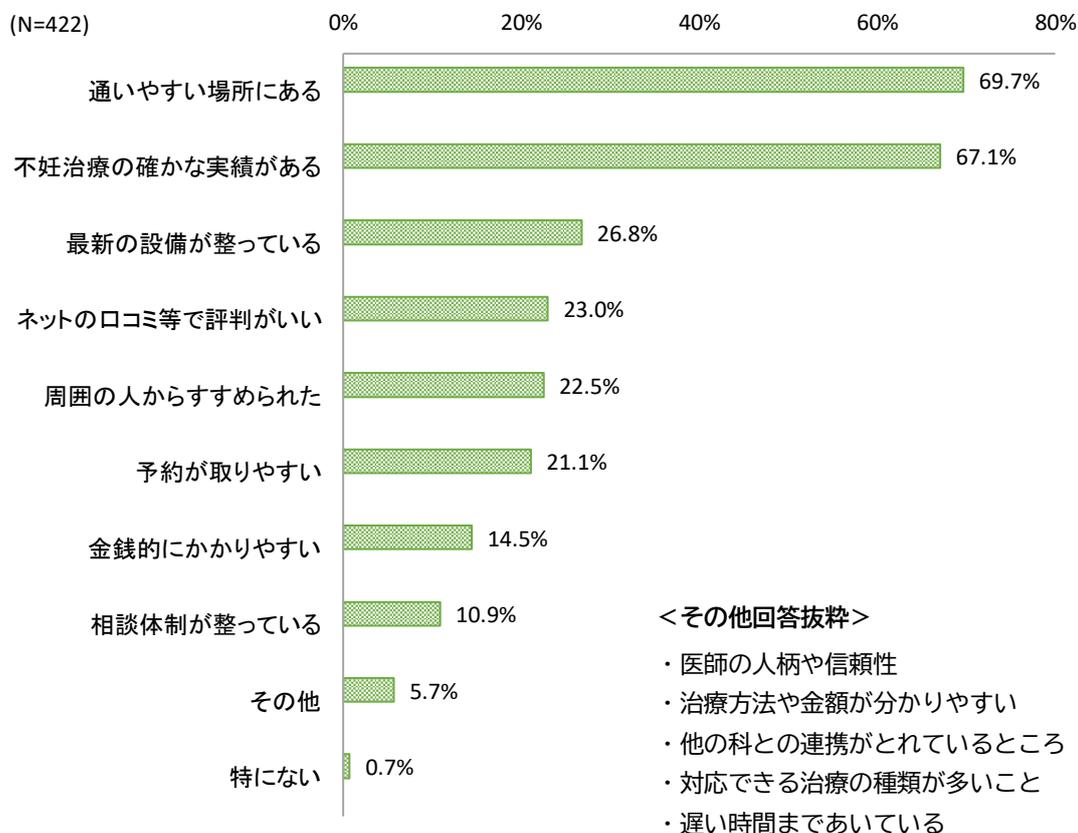
医療機関相談先について

問 16 医療機関を選ぶ場合に考慮することを教えてください。

(該当する番号3つ以内に○)

医療機関を選ぶ際に考慮することについて、「通いやすい場所にある」が 69.7%と最も多く、次いで「不妊治療の確かな実績がある」が 67.1%、「最新の設備が整っている」が 26.8%となっている。

通院中（予定）の医療機関別にみると、山梨県内では「通いやすい場所にある」、山梨県外、県内・県外の両方では「不妊治療の確かな実績がある」がそれぞれ最も高くなっている。

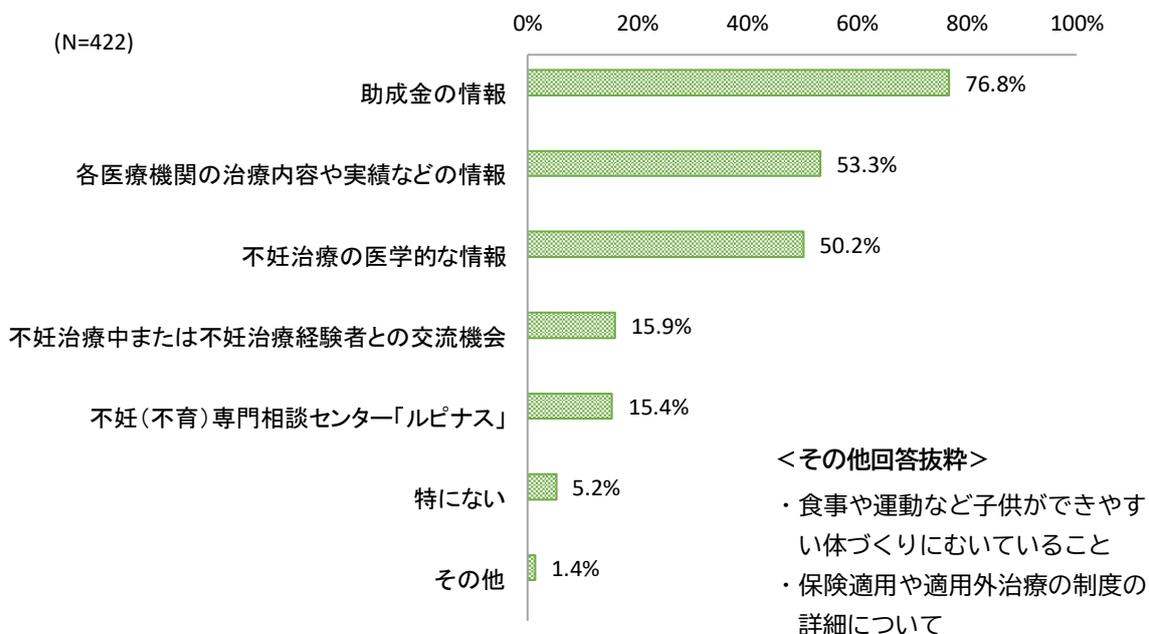


※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある		サンプル数	通いや すい場 所にあ る	金銭的 にかか りやす い	ネット のロコ ミ等で 評判が いい	周囲の 人から すすめ られ	不妊治 療の確 かな実 績があ る	相談体 制が整 っている	予約が 取りや すい	最新設 備が整 っている	特にな い	その他
上位1項目												
総数		422 -	294 69.7%	61 14.5%	97 23.0%	95 22.5%	283 67.1%	46 10.9%	89 21.1%	113 26.8%	3 0.7%	24 5.7%
年齢別	24歳以下	2 -	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	25～29歳	49 -	32 65.3%	12 24.5%	12 24.5%	8 16.3%	32 65.3%	8 16.3%	13 26.5%	16 32.7%	0 0.0%	1 2.0%
	30～34歳	136 -	97 71.3%	17 12.5%	44 32.4%	31 22.8%	86 63.2%	14 10.3%	27 19.9%	36 26.5%	1 0.7%	4 2.9%
	35～39歳	123 -	89 72.4%	19 15.4%	23 18.7%	32 26.0%	86 69.9%	14 11.4%	28 22.8%	30 24.4%	2 1.6%	9 7.3%
	40～42歳	60 -	38 63.3%	5 8.3%	10 16.7%	14 23.3%	42 70.0%	5 8.3%	13 21.7%	16 26.7%	0 0.0%	6 10.0%
	43歳以上	51 -	35 68.6%	8 15.7%	8 15.7%	10 19.6%	35 68.6%	4 7.8%	7 13.7%	14 27.5%	0 0.0%	4 7.8%
通院中（予定）の医療機関	山梨県内	359 -	272 75.8%	53 14.8%	82 22.8%	76 21.2%	226 63.0%	43 12.0%	79 22.0%	82 22.8%	3 0.8%	19 5.3%
	山梨県外	21 -	6 28.6%	3 14.3%	3 14.3%	8 38.1%	20 95.2%	0 0.0%	3 14.3%	12 57.1%	0 0.0%	0 0.0%
	県内・県外の両方	41 -	15 36.6%	5 12.2%	12 29.3%	11 26.8%	36 87.8%	3 7.3%	6 14.6%	19 46.3%	0 0.0%	5 12.2%
	未定	1 -	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問 17 不妊治療に関する情報について、知りたいと思うものを教えてください。

(該当する番号3つ以内に○)

不妊治療に関する知りたい情報について、「助成金の情報」が 76.8%と最も多く、次いで「各医療機関の治療内容や実績などの情報」が 53.3%、「不妊治療の医学的な情報」が 50.2%となっている。



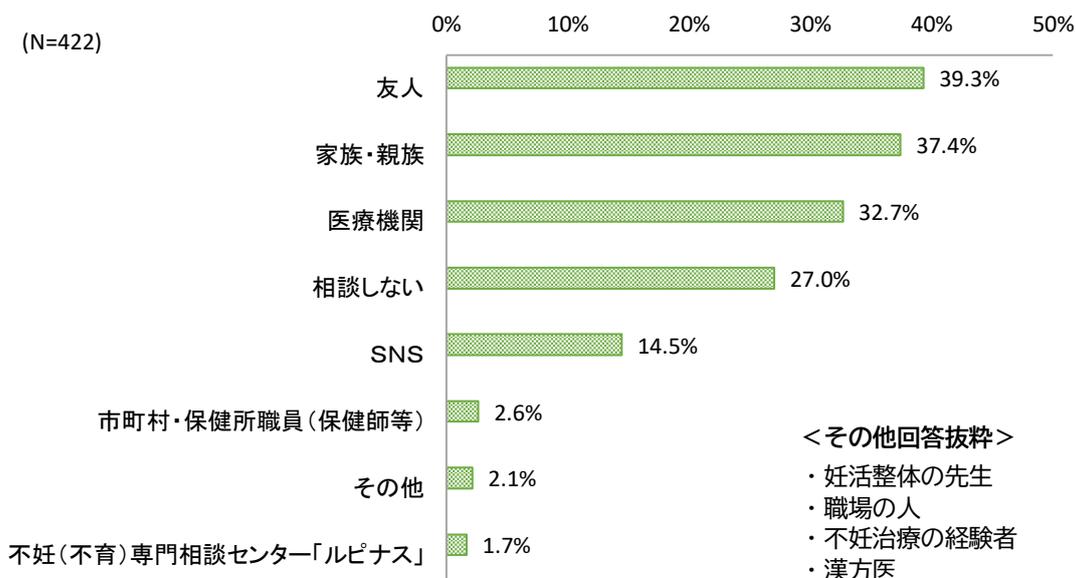
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある		サンプル数	助成金の情報	不妊治療中または交流機会	各医療機関の実績などの情報	不妊(不育)専門相談センター「ルピナス」	不妊治療の医学的な情報	特にない	その他
上位1項目									
総数		422	324 76.8%	67 15.9%	225 53.3%	65 15.4%	212 50.2%	22 5.2%	6 1.4%
年齢別	24歳以下	2	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	25～29歳	49	37 75.5%	6 12.2%	26 53.1%	9 18.4%	24 49.0%	2 4.1%	0 0.0%
	30～34歳	136	108 79.4%	22 16.2%	72 52.9%	19 14.0%	70 51.5%	6 4.4%	2 1.5%
	35～39歳	123	99 80.5%	17 13.8%	66 53.7%	20 16.3%	59 48.0%	5 4.1%	1 0.8%
	40～42歳	60	47 78.3%	12 20.0%	30 50.0%	8 13.3%	29 48.3%	4 6.7%	2 3.3%
	43歳以上	51	30 58.8%	10 19.6%	29 56.9%	8 15.7%	29 56.9%	5 9.8%	1 2.0%

問 18 不妊治療に関するパートナー以外の相談先を教えてください。

(該当する番号すべてに○)

不妊治療に関する相談先について、「友人」が 39.3%と最も多く、次いで「家族・親族」が 37.4%、「医療機関」が 32.7%となっている。

年齢別にみると、20 歳代～30 歳代では「家族・親族」、30 歳代後半～40 歳代では「友人」の割合がそれぞれ最も高くなっている。

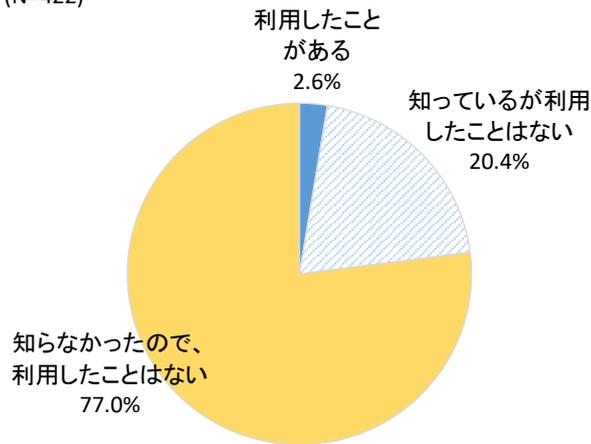


※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある		サンプル数	不妊(不育)専門相談センター「ルピナス」	医療機関	市町村・保健所職員(保健師等)	家族・親族	友人	SNS	相談しない	その他
上位1項目										
総数		422	7 1.7%	138 32.7%	11 2.6%	158 37.4%	166 39.3%	61 14.5%	114 27.0%	9 2.1%
年齢別	24歳以下	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	25～29歳	49	0 0.0%	11 22.4%	0 0.0%	21 42.9%	17 34.7%	8 16.3%	15 30.6%	0 0.0%
	30～34歳	136	2 1.5%	44 32.4%	3 2.2%	58 42.6%	56 41.2%	18 13.2%	34 25.0%	4 2.9%
	35～39歳	123	4 3.3%	39 31.7%	1 0.8%	42 34.1%	42 34.1%	24 19.5%	37 30.1%	1 0.8%
	40～42歳	60	0 0.0%	25 41.7%	4 6.7%	18 30.0%	28 46.7%	7 11.7%	16 26.7%	2 3.3%
	43歳以上	51	1 2.0%	18 35.3%	2 3.9%	16 31.4%	22 43.1%	3 5.9%	12 23.5%	2 3.9%

問 19 県では、不妊（不育）専門相談センター「ルピナス」を開設し、不妊（不育）に関する相談事業を実施しております。この「ルピナス」を利用されたことはありますか。（該当する番号1つに○）

「ルピナス」の認知度について、「知らなかったので、利用したことはない」が 77.0%と最も多く、次いで「知っているが利用したことはない」が 20.4%、「利用したことがある」が 2.6%となっている。

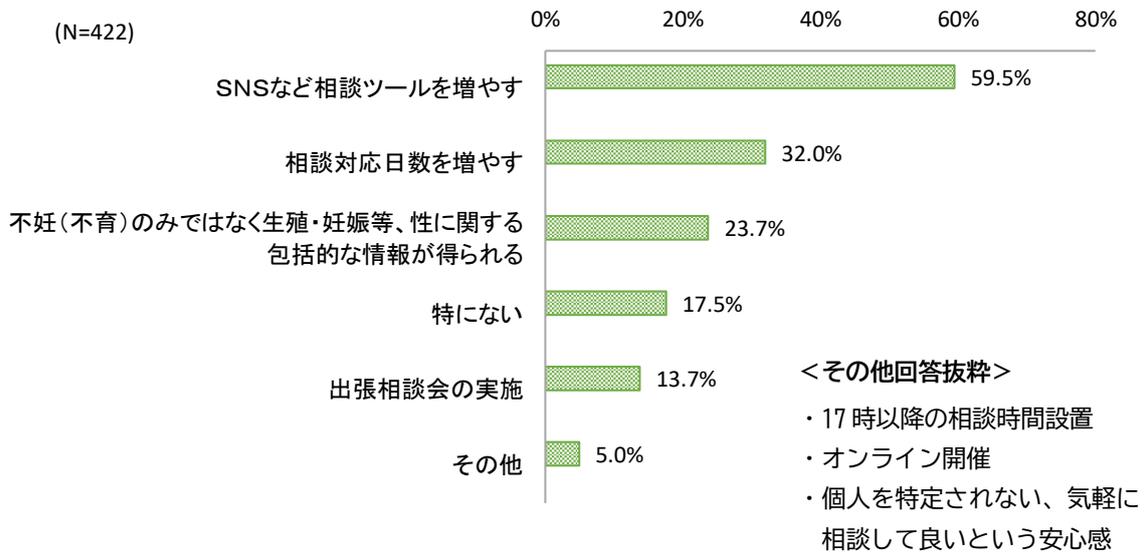
(N=422)



※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある		サンプル数	利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らなかったので、利用したことはない	無回答
■ 上位1項目						
総数		422	11	86	325	0
		100.0%	2.6%	20.4%	77.0%	0.0%
年齢別	24歳以下	2	0	0	2	0
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	25～29歳	49	1	7	41	0
		100.0%	2.0%	14.3%	83.7%	0.0%
	30～34歳	136	3	27	106	0
		100.0%	2.2%	19.9%	77.9%	0.0%
35～39歳	123	3	26	94	0	
	100.0%	2.4%	21.1%	76.4%	0.0%	
40～42歳	60	2	16	42	0	
	100.0%	3.3%	26.7%	70.0%	0.0%	
43歳以上	51	2	10	39	0	
	100.0%	3.9%	19.6%	76.5%	0.0%	

問 20 不妊（不育）専門相談センター「ルピナス」がより相談しやすい体制を整えるために、どのようなことが必要だと思いますか。（該当する番号3つ以内に○）

「ルピナス」に必要なことについて、「SNSなど相談ツールを増やす」が 59.5%と最も多く、次いで「相談対応日数を増やす」が 32.0%、「不妊（不育）のみではなく生殖・妊娠等、性に関する包括的な情報が得られる」が 23.7%となっている。



※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある		サンプル数	相談対応日数を増やす	SNSなど相談ツールを増やす	出張相談会の実施	生殖・妊娠等、性に関する包括的な情報が得られる	不妊（不育）のみではない	その他
上位1項目								
総数		422	135 32.0%	251 59.5%	58 13.7%	100 23.7%	74 17.5%	21 5.0%
年齢別	24歳以下	2	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	25～29歳	49	14 28.6%	28 57.1%	11 22.4%	10 20.4%	8 16.3%	4 8.2%
	30～34歳	136	36 26.5%	92 67.6%	20 14.7%	29 21.3%	23 16.9%	3 2.2%
	35～39歳	123	39 31.7%	73 59.3%	15 12.2%	31 25.2%	25 20.3%	9 7.3%
	40～42歳	60	24 40.0%	35 58.3%	6 10.0%	15 25.0%	9 15.0%	3 5.0%
	43歳以上	51	20 39.2%	22 43.1%	5 9.8%	13 25.5%	9 17.6%	2 3.9%

自由記述回答

問 21 不妊治療に関するご意見やお考え、課題などを自由にお書き下さい。

※一部抜粋、内容を要約して掲載しています。

大項目	小項目	記述内容の例
費用について	保険適用後の費用について	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療の助成金もなくなったことでかえって、治療の制約が増え、治療費の負担額が増えた。 ・保険適用となり高額療養費制度が使え、加入している医療保険も使え、助かっている。 ・保険適用後の治療費であっても決して安くはない。 ・不妊治療が保険適用になり、経済的な負担は軽くなり、悩んでいた治療のステップアップのハードルが下がった。
	宿泊費・交通費について	<ul style="list-style-type: none"> ・治療のために都内まで通院しており、宿泊費や交通費などもかかり、金銭的に大変。 ・都内のクリニックへ通うため、交通費の助成がほしい。
	治療費の明示について	<ul style="list-style-type: none"> ・現金でしか対応できない場合、いくら用意したらいいのか分からない。おおよその金額が知りたい。
助成金について	不妊治療助成制度創設の要望	<ul style="list-style-type: none"> ・県としての助成金がなくなったので復活してほしい。 ・少しでも助成金があれば、継続しやすい。 ・保険適用前と同じ治療を同程度の負担額で受けられるような助成金があったらいい。
	各市町村の助成金について	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ県内に住んでいるのに、市町村によって助成の内容に差が大きすぎる。
	助成金の情報提供について	<ul style="list-style-type: none"> ・助成金のことについて病院から説明がほしい。
	申請手続きの煩雑さについて	<ul style="list-style-type: none"> ・助成金の申請が分かりづらい。 ・助成金の申請がもっと分かりやすく簡単になるといい。
保険適用について	保険適用制限に対する要望・不満	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢制限をなくしてほしい。 ・回数に制限があり、完全に取り組みやすくなったとは言えない。もっと治療しやすいよう助成してほしい。 ・保険適用外の年齢なので、費用の面で不公平感を感じる。
	保険適用の制限に対する焦り	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療を開始する年齢が遅かった事に加え、コロナにより収入減少もあり、保険適用の年齢制限で焦っている。 ・保険適用になったが、助成金が無くなってしまった事で保険適用の回数制限後の治療は考えられなくなって焦ってしまう。 ・回数制限により精神的に追い詰められる。

治療に対する不安・悩みについて	精神的な不安	<ul style="list-style-type: none"> ・いつまで続くかわからないうえに、妊娠できるかわからないので自分の精神状態が保てるか不安。 ・不妊治療をもうすぐ終了する予定だが、思った通りにいかなかったため、終了した後も精神的な不安がある。
	治療の継続について	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢制限をきっかけに治療をやめたほうがいいのか考えることが増えた。
	当事者の負担	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療の理解がないひとからの心無い言葉にストレスを感じる。 ・夫婦のことなのに女性の負担が大きいと感じる。
	治療開始時の不明点	<ul style="list-style-type: none"> ・治療をはじめたばかりだが、保険適用の内容や各種助成制度などわからないことが多く戸惑っている。
仕事との両立について	両立の大変さ	<ul style="list-style-type: none"> ・治療をしたいが仕事がつらい、でも治療費は高いという八方塞がりな状況。 ・働きながらの不妊治療は、周囲に対する申し訳なさやプレッシャーなど心身の負担が大きく、職場の理解が不可欠である。 ・周期に合わせて休暇を取るが、予定通りにいかないため仕事の調整が難しい。
	通院に関する負担	<ul style="list-style-type: none"> ・住んでいる地域に体外受精を行っている医療機関がなく、通院による負担や仕事への影響が大きい。 ・もう少し病院の選択肢があり、通院距離が短ければ職場を抜ける時間も短くなり助かる。
職場の理解について	不妊治療に関する制度について	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療休暇があれば負担が減るのかなと思う。 ・職場では不妊治療休暇を設けているが、不妊治療をしていることを公言したくないので利用できない。
	事業主に対して	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主に対して不妊治療の理解を深めるためのセミナー等を増やし、職場の理解を深められればいいと思う。 ・不妊治療をしていることを職場の同僚に気軽に言えるような環境づくりが大切だと思う。
	働き方について	<ul style="list-style-type: none"> ・普段からの体調管理を含め、治療のつらさは個人差があるため、フレックスやリモートワークなど柔軟な働き方ができることは非常に助かる。
不妊治療への理解について	周囲の不妊治療に対する理解	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療について世間一般に正しく理解してもらいたい。 ・もっと世の中が不妊治療に対してオープンになってくれると嬉しい。 ・夫が治療に消極的で孤独を感じる。夫婦で取り組むものという認識が広がったらいい。 ・不妊治療に対する偏見や特別視を無くすことが必要。
	不妊治療について学ぶ機会	<ul style="list-style-type: none"> ・若く健康だからといって妊娠出産できるとは限らないということを、もっと学校教育などで教えていったほうがよいと思う。 ・いつでも誰でも妊娠できると思っていたが、年齢が上がると妊娠しにくい、若くても不妊の人がいるということを知り、不妊治療を始めてから知った。もっと早くに知りたかった。 ・若い世代の人たちに、加齢による正常妊娠率の変化を知ってもらう必要があると思う。

医療機関 について	保険適用後の 受診予約につ いて	<ul style="list-style-type: none"> ・保険適用後、不妊治療を始める人が増え、思うように治療が進まなくなつた。 ・保険適用になり予約が取りづらくなったため、焦りや不安が増える。
	山梨県内での 治療について	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨県内で不妊治療を受けたくても予約が取りにくく、ハードルの高さを感じる。 ・一般の産婦人科とは切り離された高度治療専門生殖センターみたいなものができて、県内での治療の幅が広がるといと思う。 ・不妊治療を行える病院が増えて、自分たちに合った病院選びが出来る環境を作してほしい。
	医療機関への 要望	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと患者の気持ちを考えて治療にあたり、話をしてくれる医師が増えてほしい。 ・不妊治療を始めたばかりの時は何も分からず不安だったので、不妊相談センターがあることを病院で案内してもらえたら良かった。 ・子どもを連れて通院するのが大変。診察中だけでも子どもをみてるようなシステムがあったら通いやすいと思う。 ・土日で行っているクリニックが増えてほしい。 ・毎回十数万円を現金で用意するのは大変なので、医療機関でクレジットカードを使用できるようにしてほしい。
	医療機関の相 談体制につ いて	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関に不妊に関して相談できる看護師などがあるといい。 ・医療機関でカウンセリングが気軽に受けられない。 ・通院している病院では医師がとても忙しいようなので、相談を遠慮してしまう。
	胚培養士につ いて	<ul style="list-style-type: none"> ・胚培養士の育成に取り組まないと、山梨県は人手不足だと思う。
相談につ いて	周囲に相談で きない理由	<ul style="list-style-type: none"> ・治療は分からないことだらけだから他の人の話も聞きたいが、自分が不妊治療を受けていることを言いたくないという葛藤がある。 ・役所に相談したいが顔見知りが多く、気軽に相談に行きにくい。 ・不妊は体に問題があると思われそうでなかなか相談できない。
	相談に関する 悩み	<ul style="list-style-type: none"> ・助成金のことなど、どこに相談したらいいか分からず困っている。 ・周りの人の理解が得られず何気なく傷つく事を言われるので話にくい。 ・不妊治療は、なかなか気持ちがわかってもらえず、同じ女性でも家族や友達にも相談しにくい。
	相談体制に関 する要望	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療中のメンタルの相談に乗ってもらえるところが市町村にあるといい。 ・流産を経験した方が集まって気持ちを共有する場があるといいと思う。 ・個々にあったカウンセリングを受けられる場所が必要だと感じる。 ・不妊治療に踏み切るタイミング等を気軽に相談、情報収集できる場があるといい。 ・不妊治療中の方が気軽に書き込める掲示板のようなものがあるとうれしい。
	不妊（不育）専 門相談センタ ー「ルピナス」 について	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療をしている辛さを吐露できたのは SNS でした。ルピナスでぜひ SNS で情報発信をしてほしい。 ・ルピナスの存在を知らなかったので医療機関等で周知してもらえるとありがたい。 ・県、市、ルピナスいずれも土日に相談できないので利用できない。

<p>情報収集 について</p>	<p>知りたい情報 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他県を含めた医療機関の情報などを知りたい。 ・精神的負担を軽減するために、専門の方々から不妊治療の実績について聞いてみたい。 ・不妊治療に関する用語や治療内容について、情報を得られるものがあるとありがたい。 ・県内の不妊治療経験者からの、医療機関の情報などが得やすくなると助かる。
<p>行政への 要望</p>	<p>不妊治療等の 支援体制につ いて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・養子縁組も一つの案としてあることなど、赤ちゃんが生まれなかった時のフォローアップ施設などあるとうれしい。 ・不妊治療以降出産してからもケアしてくれるような体制がもっと整っていると出産しやすい環境になっていくと思う。 ・なかなか結果が得られない場合のサポートを充実してほしい。
	<p>情報提供につ いて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県と市の助成金についてホームページをみても不明な点が多いので、もっと分かりやすくしてほしい。 ・少しでも早く治療にとりかかることができるよう、子供を考える夫婦に情報が周知されると良いと思う。

2 ヒアリング調査（医療機関対象）

大項目	小項目	現状・課題
経済的支援について	保険適用後の変化など	<ul style="list-style-type: none"> ・保険適用後、治療を希望する患者の数は増加している。 ・増加に伴い、治療を受けるのに9か月待ちのケースあり。 ・外来の数に制限をかけている（紹介状がないと受け付けない等）。 ・保険適用とはいえ、お金がないとなかなか通いづらい状況。 ・保険適用について患者さん自身もよくわかっていないのではないかなと思う。
	不妊治療に関する費用の支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・43歳ギリギリの方への支援が必要ではと思う一方、43歳というラインが、治療をやめるきっかけにもなっている。 ・助成金は市町村が独自で支援を行っているから県は不要だと思う。 ・保険適用外の、自費で治療を行っている人に対する助成が必要だと思う。
医療体制整備	人材（胚培養士）確保・定着	<ul style="list-style-type: none"> ・胚培養士が足りていない。 ・胚培養士定着のため、給与面の支援が必要。 ・胚培養士2名は最低ラインだが、民間だと3名雇うことは厳しい。 ・大学のリカレント教育などを利用により資質向上につなげるとよい。 ・働きながらスキルアップできるような学会費等の援助を行っている。 ・定着のためには山梨県での暮らしやすさ、働きやすさなどの整備が必要。
	医療機器購入、施設設備	<ul style="list-style-type: none"> ・機械が新しくなれば胚培養士等スタッフの効率化が可能。 ・大きい病院へのセンター化も必要（マンパワーの面からの集約化）。 ・医療機器の増加に伴い培養士の仕事量の増加も予測される。 ・医療機器よりも施設が足りない。 ・医療機器を新たに購入しても対応できる患者数はほとんど変わらない。
支援体制の強化	既存の相談体制について	<ul style="list-style-type: none"> ・相談には不妊治療を経験している専門職が必要。 ・ルピナス*の認知度が低いと思う。 ・医療情報を入手するためにルピナス*を利用する方がいたが、ネットで様々な情報を個人が得られるため、利用者が減っているのではないかな。 ・院内では、治療についての相談が多い。 ・*ルピナス・・・不妊（不育）専門相談センター
	今後の相談体制について	<ul style="list-style-type: none"> ・チャットボット（システムが自動で行うコミュニケーションツール）など、簡単な疑問が解決出来るツールがあれば良いのではないかな。 ・通院している病院以外でカウンセリング等を行うのは難しいかもしれないが、相談の支援を行うのがよいのではないかな。 ・対応日数を増やす、あるいはリモート相談もよいのではないかな。 ・早く妊娠したいが、なかなか結果がでないという不安があるので、妊娠するための情報を必要としているのではないかな。 ・交流会など顔が見える患者の横のつながりは難しい（妊娠した時点で関係性が壊れてしまう）。 ・個人情報の観点から、オープン場に集まることはハードルが高い。
	治療しやすい環境・治療への理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーターは、不妊治療の底上げにつながるのだから良い。関わる人は是非研修を受けてほしい。
	妊娠に対する意識	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代へのアプローチが必要（妊娠・出産の可能性が高い時期から）。

Ⅲ 資料編

1 調査協力依頼文

県民の皆さまへ

「不妊治療に関する実態調査」へのご協力について

本アンケートは、不妊治療中（予定者含む）の男女を対象に保険適用後の不妊治療費に関する負担感や不妊治療の環境を整備する上で求めているサービス等について実態を明らかにすることを目的としております。調査を行い、本県が取り組むべき有効な施策について検討するための大切な基礎資料とさせていただきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

令和4年8月

■アンケート調査の対象者について

このアンケートは、不妊治療指定医療機関を通じ、不妊治療中あるいは治療予定の男女の方へ調査の協力をお願いしています。

調査は無記名方式で個人が特定される心配はありません。また、調査結果は統計的に処理し、調査の目的以外には使用することはありません。

■ご記入にあたってのお願い

※インターネットで回答が可能な方は①の方法で、それ以外の方は②の方法でご回答ください。
なお、調査票を受け取ってから10日以内に回答をお願いします。

① インターネットで回答が可能な場合

1. 左のQRコードを読み取るか、下のWebサイトにアクセスし、説明に従ってご回答ください。
<https://forms.office.com/r/bEyKE0s25Q>



2. インターネットでご回答いただいた方は、本調査票の返送は不要です。

② 別紙調査票で回答を行う場合（インターネットで回答が困難な場合）

1. ご記入にあたっては、あてはまる番号を○で囲んでください。
(例) 1 ○2○ 3 4 5
2. 質問ごとに○をつける数が違いますので、ご注意ください。
3. 「その他」を答えに選んだ場合は、お手数ですがその内容を具体的に
() 内にお書きください。
4. お手数ですが、同封の返信用封筒にて投函してください。(※切手は不要です。)

■お問い合わせ

2 調査票

I あなた自身のことについて

問1 あなたの性別を教えてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたのお住まいの（住民票のある）市町村はどちらですか。市町村名をご記入ください。

--

問3 あなたの現在の年齢と治療経験のある方は初めて不妊治療を開始した年齢を教えてください。

- | | | | |
|-------|---|------------|---|
| 現在の年齢 | 歳 | 初めての治療開始年齢 | 歳 |
|-------|---|------------|---|

問4 あなたの治療状況を教えてください。（該当する番号1つに○）

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 現在治療を行っている | 2. 過去に治療を行っていたが、今は未治療 |
| 3. 過去に治療を行っていたが、再び治療を検討中 | 4. 治療したことがなく、治療を検討中 |

問5 現在行っている、行っていたもしくは行う予定の不妊治療の内容を教えてください。

（該当する番号すべてに○）

- | | |
|------------|-------------------------|
| 1. タイミング指導 | 2. 人工授精 |
| 3. 体外受精 | 4. 顕微授精 |
| 5. 男性不妊治療 | 6. 先進医療（タイムラプス、SEET 法等） |
| 7. 治療前の検査 | 8. 検討中のため、分からない |
| 9. その他（ | ） |

問6 通院されている、通院されていたもしくは通院予定の医療機関はどちらですか。

（該当する番号1つに○）

- | | | | |
|---------|---------|-----------------|-------|
| 1. 山梨県内 | 2. 山梨県外 | 3. 山梨県内・山梨県外の両方 | 4. 未定 |
|---------|---------|-----------------|-------|

II 不妊治療について

問7 令和4年4月以降に、治療を行った方、これから行う予定の方にお尋ねします。それ以外の方は、問8へお進みください。

令和4年4月以降、不妊治療が保険適用となったことによるあなたの心理面への影響について、教えてください。（該当する番号3つ以内に○）

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 治療を受けやすくなった | 2. 医療機関が混雑して待ち時間が増えた |
| 3. 医療機関が選びやすくなった | 4. 保険適用・適用外の範囲がわかりづらい |
| 5. 希望する治療が受けられなくなった | 6. 特にない |
| 7. その他（ | ） |

問8 不妊治療について不安に思っている、または過去不安に思っていたことを教えてください。

（該当する番号3つ以内に○）

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 費用への不安 | 2. 治療によって妊娠・出産できるかの不安 |
| 3. 家族や友人、職場等の周囲の反応への不安 | 4. 病院が遠い等の通院への不安 |
| 5. 仕事と両立できるかの不安 | 6. パートナーとのコミュニケーションへの不安 |
| 7. 自身・パートナーの体調や体力への不安 | 8. 特にない |
| 9. その他（ | ） |

Ⅲ 経済的負担について

問9 令和4年4月以降、不妊治療が保険適用となったことによるあなたの経済面への影響について、教えてください。(該当する番号1つに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 治療費が少なくなり、経済的に治療しやすくなった (始めやすくなった) |
| 2. 治療費が多くなり、経済的に治療しにくくなった (始めにくくなった) |
| 3. 経済面に大きな変化はない |

問4で「1. 現在治療を行っている」または「2. 過去に治療を行っていたが、今は未治療」「3. 過去に治療を行っていたが、新たに治療を検討中」と回答した方にお尋ねします。それ以外の方は問11へお進みください。

問10 経済的負担を理由とする治療継続に関する経験について教えてください。複数あてはまる場合はより期間の長いものをお選びください。(該当する番号1つに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 治療を一時やめた (やめている) | 2. 継続するか悩んだ (悩んでいる) |
| 3. 開始を遅らせた | 4. 経済的負担による影響はない |

問11 不妊治療に関して経済的に負担と感ずるものを教えてください。(該当する番号3つ以内に○)

- | | |
|------------|------------------------|
| 1. 治療費 | 2. 通院のための交通費、宿泊費、ガソリン代 |
| 3. 薬剤費 | 4. サプリメント・漢方にかかる費用 |
| 5. 鍼灸 | 6. 時短勤務・欠勤・退職等による収入減 |
| 7. 特になし | |
| 8. その他 () | |

問11で「1. 治療費」と回答した方にお尋ねします。それ以外の方は問13へお進みください。

問12 治療費に対して助成する場合、どのような費用に対して助成を望みますか。

(該当する番号1つに○)

- | | |
|------------------------------------|-------------------------|
| 1. 保険適用の回数制限*を超えた場合の治療費 | 2. 保険適用の年齢制限*を超えた場合の治療費 |
| 3. 先進医療の治療費 | 4. 保険適用されている治療の自己負担分 |
| 5. 保険診療、先進医療として認定されていない治療をした場合の治療費 | |
| 6. その他 () | |

*保険適用の回数制限・・・初めての治療開始時点の女性の年齢40才未満 6回/1子、40歳以上43歳未満 3回/1子
*保険適用の年齢制限・・・治療開始時において女性の年齢が43歳未満であること

Ⅳ 仕事との両立について

不妊治療期間中に働いているもしくは働いていた方(雇用形態問わず)にお尋ねします。それ以外の方は問16へお進みください。

問13 あなたが働いている、または働いていた職場では不妊治療への理解がありますか。

(該当する番号1つに○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 理解があると思う | 2. ある程度理解があると思う |
| 3. あまり理解がないと思う | 4. 理解がないと思う |
| 5. わからない | |

問 14 不妊治療の通院のため、仕事にどのような影響がありましたか。(該当する番号 1 つに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| 1. 時短勤務 | 2. 正規職からパート・アルバイト等の非正規職になった |
| 3. 異動 | 4. 転職 |
| 5. 退職 | 6. 休職 |
| 7. 仕事への影響はない(従来通りの勤務) | |
| 8. その他 () | |

問 15 仕事と治療を両立させる上で、どのような環境や制度が必要だと思いますか。

(該当する番号 2 つ以内に○)

- | |
|--|
| 1. 有給休暇をとりやすい雰囲気 |
| 2. 自由な働き方(フレックスタイム制 [*] 、リモートワーク [*] など) |
| 3. 不妊治療休暇 |
| 4. 県内企業における取組に対する奨励金 |
| 5. 特にない |
| 6. その他 () |

※フレックスタイム制とは…労働者自身が日々の労働時間や始業・就業時刻を決定することができる制度のこと。

※リモートワークとは…オフィスに出勤することなく、自宅など会社以外の場所で働く勤務形態のこと。

V 医療機関・相談先について

問 16 医療機関を選ぶ場合に考慮することを教えてください。(該当する番号 3 つ以内に○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 通いやすい場所にある | 2. 金銭的にかかりやすい |
| 3. ネットの口コミ等で評判がいい | 4. 周囲の人からすすめられた |
| 5. 不妊治療の確かな実績がある | 6. 相談体制が整っている |
| 7. 予約が取りやすい | 8. 最新の設備が整っている |
| 9. 特にない | |
| 10. その他 () | |

問 17 不妊治療に関する情報について、知りたいと思うものを教えてください。

(該当する番号 3 つ以内に○)

- | | |
|-----------------------|--------------------------------------|
| 1. 助成金の情報 | 2. 不妊治療中または不妊治療経験者との交流機会 |
| 3. 各医療機関の治療内容や実績などの情報 | 4. 不妊(不育)専門相談センター「ルピナス」 [*] |
| 5. 不妊治療の医学的な情報 | 6. 特にない |
| 7. その他 () | |

※不妊(不育)専門相談センター「ルピナス」 場所：山梨県福祉プラザ 3 階

電話相談：毎週水曜日午後 3 時～7 時(助産師が対応)

面接相談：第 2・第 4 水曜日午後 3 時～7 時(面接は予約必須)(医師、心理カウンセラーが対応)

問 18 不妊治療に関するパートナー以外の相談先を教えてください。(該当する番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------|----------|
| 1. 不妊(不育)専門相談センター「ルピナス」 | 2. 医療機関 |
| 3. 市町村・保健所職員(保健師等) | 4. 家族・親族 |
| 5. 友人 | 6. SNS |
| 7. 相談しない | |
| 8. その他() | |

問 19 県では、不妊(不育)専門相談センター「ルピナス」を開設し、不妊(不育)に関する相談事業を実施しております。この「ルピナス」を利用されたことはありますか。(該当する番号1つに○)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 利用したことがある | 2. 知っているが利用したことはない |
| 3. 知らなかったので、利用したことはない | |

問 20 不妊(不育)専門相談センター「ルピナス」がより相談しやすい体制を整えるために、どのようなことが必要だと思いますか。(該当する番号3つ以内に○)

- | | |
|--|-------------------|
| 1. 相談対応日数を増やす | 2. SNSなど相談ツールを増やす |
| 3. 出張相談会の実施 | |
| 4. 不妊(不育)のみではなく生殖・妊娠等、性に関する包括的な情報が得られる | |
| 5. 特にない | |
| 6. その他() | |

VI 自由意見

問 21 不妊治療に関するご意見やお考え、課題などを自由にお書き下さい。

--

ご協力ありがとうございました。



「不妊治療環境整備検討事業」
山梨県不妊治療に関する実態調査 報告書
発行者 山梨県
発行日 令和5年1月